

機械式駐車場技術基準・同解説 2017 年版

正誤表

区分	位置	誤	正
本文	5.5.1.1 d)	開放型の縦列式の機械式駐車設備では、 <u>前側機と奥側機との間を前側機と奥側機との間</u> を固定の囲い及び区画扉、又は区画扉だけで区画しなければならないが、b) の 1) ～ 3) を満たす区画扉の場合は、区画の高さを 1 100 mm 以上 1 800 mm 未満としてもよい。	開放型の縦列式の機械式駐車設備では、前側機と奥側機との間を固定の囲い及び区画扉、又は区画扉だけで区画しなければならないが、b) の 1) ～ 3) を満たす区画扉の場合は、区画の高さを 1 100 mm 以上 1 800 mm 未満としてもよい。
本文	5.6.2.4	<u>ドラム及びシーブ径</u>	ドラム径及びシーブ径
解説	5.5.4 の段落前段	附属書 B の類型 6 (垂直循環方式) は、 <u>搬器降下制限装置</u> を設けることが構造的に困難であり、この規定は適用しない。	附属書 B の類型 6 (垂直循環方式) は、降下保護装置を設けることが構造的に困難であり、この規定は適用しない。
解説	5.7.4.1 e) の段落後段	ただし、監視モニタで人がいるのを確認しても非常停止の作動が遅れれば、危険回避できないので、適切に <u>残存リスク</u> を使用者に開示する必要がある[7.2.2 c) 参照]。	ただし、監視モニタで人がいるのを確認しても非常停止の作動が遅れれば、危険回避できないので、適切に残留リスクを使用者に開示する必要がある[7.2.2 c) 参照]。
解説	5.7.4.4 a) の段落後段	なお、作動指令によって、搬器が開口を塞ぐ位置から移動してしまうと墜落を防護できないので、適切に <u>残存リスク</u> を使用者に開示する必要がある [7.2.2 d) 参照]。	なお、作動指令によって、搬器が開口を塞ぐ位置から移動してしまうと墜落を防護できないので、適切に残留リスクを使用者に開示する必要がある [7.2.2 d) 参照]。
解説	7.2.2	取扱者及び利用者が、機械式駐車設備を通常使用するための情報であり、意図する使用の指示、予見可能な誤使用、 <u>残存リスク</u> などについて、適切な情報を提供する必要がある。 なお、機械式駐車設備では、最も <u>残存リスク</u> の大きい危険事象が c) の閉	取扱者及び利用者が、機械式駐車設備を通常使用するための情報であり、意図する使用の指示、予見可能な誤使用、残留リスクなどについて、適切な情報を提供する必要がある。 なお、機械式駐車設備では、最も残留リスクの大きい危険事象が c) の閉

区分	位置	誤	正																																																																
		じ込めであり、一時的な退避、非常停止及び非常脱出手段など、回避の手段も情報提供する必要がある。	じ込めであり、一時的な退避、非常停止及び非常脱出手段など、回避の手段も情報提供する必要がある。																																																																
解説	7.3.2	利用者に対して、 <u>残存リスク</u> を明示する注意（危険）事項と、意図する利用方法を明示する説明事項とを、表示する方法がある。ただし、a) の注意（危険）事項は、機械式駐車設備に共通する事項だけであり、製造者固有のリスク事項などは考慮していない。	利用者に対して、残留リスクを明示する注意（危険）事項と、意図する利用方法を明示する説明事項とを、表示する方法がある。ただし、a) の注意（危険）事項は、機械式駐車設備に共通する事項だけであり、製造者固有のリスク事項などは考慮していない。																																																																
解説	7.3.3	取扱者に対して、 <u>残存リスク</u> を明示する注意（危険）事項と、危険回避の方法を明示する説明事項とを、表示する方法がある。ただし、a) の注意（危険）事項は、機械式駐車設備に共通する事項だけであり、製造者固有のリスク事項などは考慮していない。	取扱者に対して、残留リスクを明示する注意（危険）事項と、危険回避の方法を明示する説明事項とを、表示する方法がある。ただし、a) の注意（危険）事項は、機械式駐車設備に共通する事項だけであり、製造者固有のリスク事項などは考慮していない。																																																																
解説	H.2.1 の段落前段	前庭では、利用者又は同乗者のいずれもが <u>車椅子利用者</u> であっても、自動車に乗降できるようにする必要がある。	前庭では、利用者又は同乗者のいずれもが車椅子使用者であっても、自動車に乗降できるようにする必要がある。																																																																
本文	PB.2.1 の表 PB.1	<table><tr><th colspan="2" rowspan="3">区分 単列</th><th colspan="3">自動車</th><th>自動二輪車</th></tr><tr><th colspan="2">縦列</th><th rowspan="2">単列</th><th rowspan="2"></th></tr><tr><th>前側</th><th>奥側</th></tr><tr><td rowspan="2">入庫</td><td>前進</td><td>20</td><td>20</td><td>24</td><td rowspan="2">40</td></tr><tr><td>後進</td><td>30</td><td>30</td><td>34</td></tr><tr><td rowspan="2">出庫</td><td>前進</td><td>20</td><td>20</td><td>24</td><td rowspan="2">35</td></tr><tr><td>後進</td><td>23</td><td>23</td><td>27</td></tr></table>	区分 単列		自動車			自動二輪車	縦列		単列		前側	奥側	入庫	前進	20	20	24	40	後進	30	30	34	出庫	前進	20	20	24	35	後進	23	23	27	<table><tr><th colspan="2" rowspan="3">区分</th><th colspan="3">自動車</th><th>自動二輪車</th></tr><tr><th rowspan="2">単列</th><th colspan="2">縦列</th><th rowspan="2">単列</th></tr><tr><th>前側</th><th>奥側</th></tr><tr><td rowspan="2">入庫</td><td>前進</td><td>20</td><td>20</td><td>24</td><td rowspan="2">40</td></tr><tr><td>後進</td><td>30</td><td>30</td><td>34</td></tr><tr><td rowspan="2">出庫</td><td>前進</td><td>20</td><td>20</td><td>24</td><td rowspan="2">35</td></tr><tr><td>後進</td><td>23</td><td>23</td><td>27</td></tr></table>	区分		自動車			自動二輪車	単列	縦列		単列	前側	奥側	入庫	前進	20	20	24	40	後進	30	30	34	出庫	前進	20	20	24	35	後進	23	23	27
区分 単列		自動車			自動二輪車																																																														
		縦列			単列																																																														
		前側	奥側																																																																
入庫	前進	20	20	24	40																																																														
	後進	30	30	34																																																															
出庫	前進	20	20	24	35																																																														
	後進	23	23	27																																																															
区分		自動車			自動二輪車																																																														
		単列	縦列		単列																																																														
			前側	奥側																																																															
入庫	前進	20	20	24	40																																																														
	後進	30	30	34																																																															
出庫	前進	20	20	24	35																																																														
	後進	23	23	27																																																															
本文	PB.3.4.2 a) 1) の t_o 式	$t_o = T_5/2 + \underline{(T_2 + T_3)/2} + T_6 + (T_2 + T_3)/4 + T_5/2 + T_8 + T_{7o}$	$t_o = T_5/2 + (T_2 + T_3)/4 + T_6 + (T_2 + T_3)/4 + T_5/2 + T_8 + T_{7o}$																																																																
本文	PB.3.4.2 a) 2) の t_i 式	$t_i = T_1 + T_5/2 + \underline{2(T_2 + T_3)/4} + T_4 + T_{7i}$	$t_i = T_1 + T_5/2 + (T_2 + T_3)/4 + T_4 + T_{7i}$																																																																